

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月3日

上場会社名 NOK株式会社 上場取引所 東

コード番号 7240 URL http://www.nok.co.jp

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 土居 清志

問合せ先責任者 (役職名) 広報部 部長 (氏名) 加来 隆志 TEL 03-6891-0191

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無:無 四半期決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		上高 営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	481, 744	△7. 7	9, 468	△64. 3	14, 099	△55. 7	4, 598	△75.7
2019年3月期第3四半期	521, 964	△6.7	26, 558	△28. 4	31, 810	△33. 7	18, 903	△36.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 7,644百万円 (△18.3%) 2019年3月期第3四半期 9,357百万円 (△85.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	26. 59	_
2019年3月期第3四半期	109. 29	_

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率					
	百万円	百万円	%					
2020年3月期第3四半期	791, 494	483, 959	55. 9					
2019年3月期	785, 133	485, 498	56. 6					

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 442,689百万円 2019年3月期 444,177百万円

2. 配当の状況

		年間配当金								
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭					
2019年3月期	_	25. 00	_	25. 00	50.00					
2020年3月期	_	25. 00	_							
2020年3月期(予想)				_	_					

- (注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無
- (注) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。
- 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	619, 600	△7.5	9, 500	△58. 9	14, 000	△55.0	3, 000	△12.3	17. 34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
① ①以外の会計方針の変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	173, 138, 537株	2019年3月期	173, 138, 537株
2020年3月期3Q	167, 112株	2019年3月期	166, 905株
2020年3月期3Q	172, 971, 564株	2019年3月期3Q	172, 967, 742株

(注)従業員持株ESOP信託口は2018年4月に終了しております。なお、従業員ESOP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式数に含めております。(2020年3月期第3四半期一株、2019年3月期第3四半期4,070株)

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としての実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	3
	(1)四半期連結貸借対照表	3
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	5
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
	(継続企業の前提に関する注記)	7
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
	(会計方針の変更)	7
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
	(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速に伴う輸出の低迷や大型台風等の影響により 景気は停滞感を強めています。海外においては、中国経済は内需の回復が遅れているほか、米国による関税引き上 げによって外需も低迷し、減速感が強まっています。加えて、米中間の貿易摩擦の影響から海外経済は全体的に先 行き不透明な状況が続いています。

自動車業界は、国内での需要は底堅く推移しています。一方海外では、北米市場は底堅く推移しているものの、中国市場は低迷が続いています。

電子業界は、スマートフォン市場については、需要はほぼ横ばいで推移しています。また、ハードディスクドライブについては生産減が継続しています。

事務機業界は、業界全体はカラー機の伸張はあるものの、生産台数は横ばいで推移しました。

このような環境の中、当社のセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

シール事業におきましては、自動車向けは、国内の需要は底堅く推移しています。しかし、中国での市場低迷が 続いていることにより販売は減少しました。また、一般産業機械向けは、建設機械、工作機械、ロボット向け等の 需要が減少したことにより、販売は減少しました。

その結果、売上高は2,417億9千7百万円(前年同期比6.9%の減収)となりました。営業利益は、販売の減少、および人件費・経費、償却費の増加等により183億2千4百万円(前年同期比35.9%の減益)となりました。

電子部品事業におきましては、高機能スマートフォン向け等の販売が減少しました。

その結果、売上高は2,190億4千6百万円(前年同期比8.1%の減収)となりました。営業損失は、人件費・償却費の減少効果等はあったものの、大幅な減収により、93億7千4百万円(前年同期は32億1千4百万円の営業損失)となりました。

ロール事業におきましては、プリンター部品の需要の減少と為替影響により販売は減少しました。

その結果、売上高は140億7千7百万円(前年同期比9.5%の減収)となりました。営業損失は、経費等の削減に 努めましたが販売減少の影響が大きく、2億9千6百万円(前年同期は9千4百万円の営業利益)となりました。

特殊潤滑剤等のその他事業におきましては、売上高は68億2千2百万円(前年同期比16.8%の減収)となりました。営業利益は、7億7千3百万円(前年同期比28.6%の減益)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は4,817億4千4百万円(前年同期比7.7%の減収)となりました。営業利益は94億6千8百万円(前年同期比64.3%の減益)、経常利益は140億9千9百万円(前年同期比55.7%の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億9千8百万円(前年同期比75.7%の減益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、7,914億9千4百万円となり、前連結会計年度末対比で63億6千万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金とたな卸資産が減少したものの、受取手形及び売掛金と有形固定資産が増加したことによるものです。

負債合計は3,075億3千4百万円となり、前連結会計年度末対比79億円の増加となりました。これは主に賞与引当金と未払法人税等が減少したものの、買掛金と短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末対比で15億3千9百万円減の4,839億5千9百万円となり、自己資本比率は55.9%となりました。これは主に、退職給付に係る調整累計額とその他有価証券評価差額金が増加したものの、配当金の支払い等により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月24日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルスによる業績への影響は現時点では未定のため、本業績予想には織り込んでおりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80, 798	77, 697
受取手形及び売掛金	129, 464	144, 523
電子記録債権	15, 704	14, 945
たな卸資産	86, 715	83, 618
その他	15, 303	14, 537
貸倒引当金	△157	△130
流動資産合計	327, 828	335, 191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	89, 695	97, 256
機械装置及び運搬具(純額)	110, 968	114, 467
その他(純額)	61,831	54, 316
有形固定資産合計	262, 496	266, 040
無形固定資産	4, 760	4, 342
投資その他の資産		
投資有価証券	150, 066	149, 658
その他	40, 155	36, 432
貸倒引当金	$\triangle 174$	△171
投資その他の資産合計	190, 047	185, 919
固定資産合計	457, 304	456, 303
資産合計	785, 133	791, 494

	前連結会計年度 (2019年 3 月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部	(==== 1 =) 4 == 1.1	(==== ==>,
流動負債		
買掛金	44, 557	51, 492
短期借入金	66, 972	71, 051
未払法人税等	3, 549	1, 492
賞与引当金	10, 125	6, 697
その他	55, 856	56, 285
流動負債合計	181, 061	187, 018
固定負債		
長期借入金	19, 563	19, 296
繰延税金負債	7, 133	9, 255
退職給付に係る負債	87, 842	87, 218
その他	4, 033	4, 746
固定負債合計	118, 572	120, 516
負債合計	299, 634	307, 534
純資産の部		
株主資本		
資本金	23, 335	23, 335
資本剰余金	23, 244	23, 288
利益剰余金	362, 604	358, 449
自己株式	△226	△226
株主資本合計	408, 959	404, 847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47, 694	49, 874
為替換算調整勘定	12, 157	10, 392
退職給付に係る調整累計額	△24, 633	△22, 424
その他の包括利益累計額合計	35, 218	37, 842
非支配株主持分	41, 321	41, 269
純資産合計	485, 498	483, 959
負債純資産合計	785, 133	791, 494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	521, 964	481, 744
売上原価	430, 794	408, 229
売上総利益	91, 170	73, 515
販売費及び一般管理費	64, 611	64, 046
営業利益	26, 558	9, 468
営業外収益		
受取配当金	2, 293	2, 366
持分法による投資利益	3, 221	2, 591
補助金収入	419	2, 756
その他	2, 176	1,749
営業外収益合計	8, 110	9, 464
営業外費用		
支払利息	2, 098	2, 133
為替差損	401	1,706
その他	358	994
営業外費用合計	2, 858	4, 833
経常利益	31,810	14, 099
特別利益		
固定資産売却益	139	146
投資有価証券売却益	32	383
その他	14	_
特別利益合計	186	529
特別損失		
固定資産除却損	2, 268	773
減損損失	14	919
その他	432	654
特別損失合計	2, 716	2, 347
税金等調整前四半期純利益	29, 279	12, 282
法人税等	7, 527	7, 042
四半期純利益	21, 751	5, 240
非支配株主に帰属する四半期純利益	2, 848	641
親会社株主に帰属する四半期純利益	18, 903	4, 598

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	21, 751	5, 240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12, 324	897
為替換算調整勘定	$\triangle 1,596$	△1,080
退職給付に係る調整額	2,052	2, 180
持分法適用会社に対する持分相当額	△524	406
その他の包括利益合計	△12, 393	2, 404
四半期包括利益	9, 357	7, 644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7, 165	7, 223
非支配株主に係る四半期包括利益	2, 192	420

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

IFRSを適用している一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間の期首より、IFRS第16号を適用しております。これにより、借手は原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上しております。なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表にに与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 : 百万円)

		報告セク	ブメント		승計		四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	ロール事業	その他事業		調整額 (注1)	
売上高							
外部顧客への売上高	259, 831	238, 371	15, 558	8, 202	521, 964	_	521, 964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1, 532	40	1	329	1, 902	(1, 902)	_
計	261, 363	238, 411	15, 559	8, 531	523, 867	(1, 902)	521, 964
セグメント利益又は 損失 (△)	28, 594	△3, 214	94	1, 083	26, 558	0	26, 558

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 0百万円は、セグメント間取引消去であります。
 - 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

電子部品事業セグメントにおいて、遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、前第3四半期連結累計期間において14百万円です。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 : 百万円)

	報告セグメント						四半期連結
	シール事業	電子部品 事業	ロール事業	その他事業	合計	調整額 (注1)	損益計算書 計上額 (注2)
売上高							
外部顧客への売上高	241, 797	219, 046	14, 077	6, 822	481, 744	_	481,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1, 332	19	_	356	1,708	(1, 708)	_
計	243, 130	219, 065	14, 077	7, 178	483, 453	(1, 708)	481, 744
セグメント利益又は 損失 (△)	18, 324	△9, 374	△296	773	9, 426	41	9, 468

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 41百万円は、セグメント間取引消去であります。
 - 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失)

電子部品事業セグメントにおいて、遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において919百万円です。